資料３－１

基本的な感染対策の徹底でオミクロン株の感染拡大を抑え

県民の社会経済活動を守るための緊急メッセージ

全国的に感染が拡大したオミクロン株の影響により、岩手県では、４月に入り、新型コロナウイルスの１週間 10 万人あたりの新規感染者が 200 人を超えるなど、かつてない感染拡大が見られます。
帰省や観光で多くの方が移動する大型連休を迎え、今後の感染拡大も懸念されます。

更なる感染拡大を抑え、教育を含む社会経済活動を継続できるよう、感染対策の徹底に県民一丸となって取り組むことが必要です。

県民みんなで、改めて基本的な感染対策を再確認し、不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気などを徹底しましょう。飲食店利用については、「いわて飲食店安心認証店」の利用を推奨します。

保育や教育の現場においては、毎日の健康観察とともに、体調不良の際の登園、登校を自粛しましょう。保護者の職場においても、子どもを休ませやすいように、柔軟な対応にご協力をお願いします。

児童生徒、学生の皆さんは、慣れないマスク生活やリモート授業など、大変な２年間を過ごしてきました。努力が未来につながるよう、私たちは皆さんを応援しています。

事業者の皆様におかれては、これまでの感染対策のご協力に感謝します。引き続き、社会経済活動の担い手として、在宅勤務やローテーション勤務の実践、事業継続計画（ＢＣＰ）の策定を進め、コロナ禍においても事業が継続できる体制を整備しましょう。

中小事業者の皆様は、２年以上にわたり、事業継続に力を尽くしてこられました。既存の支援スキームに加え、商工団体や金融機関と連携して運営する「いわて中小企業事業継続支援センター」で事業継続や再チャレンジを支援します。

県民みんなで基本的な感染対策を改めて徹底し、いわての社会経済活動を守りましょう。

令和４年４月 22 日
いわて未来づくり機構　ラウンドテーブルメンバー

岩手県商工会議所連合会 会長
谷村 邦久

一般社団法人岩手経済同友会 代表幹事
高橋 真裕

大船渡商工会議所 会頭
米谷 春夫

国立大学法人岩手大学 学長
小川　 智

公立大学法人岩手県立大学 学長
鈴木 厚人

岩手県知事
達増 拓也